

『子育てにやさしく教育につよいまち』への課題

～「令和2年度 生野区運営方針」より～

こども・子育て環境

- 安心して子育てできるように、**子育て情報を得やすくし、孤立化しがちな子育て世帯が気軽に相談でき、交流できる機会**を設ける等の支援が必要。
- 次世代を担う若い世代を区内へ呼び込むために、区の内外の人々に**安心して子育てできる環境をアピール**することが必要。
- 絵本読み聞かせの必要性や楽しさを知る機会を提供することにより、**親子のコミュニケーションやこどもの知的好奇心を高める**ことが必要。

学校教育環境

- 学校配置を見直して小規模校を解消し、適正な教育環境にする**ことが必要。
- 保護者・地域が連携してこどもを育む**ために、学校に興味・関心を持ってもらうよう、**特色ある学校づくり等について情報発信を進める**ことが必要。
- 小中の交流を活性化し、中学校区単位で児童・生徒のふれあう機会を増やす**とともに、その機会を通じて**教員間の交流**を図ることが必要。
- 学校における取組への支援と課外での学ぶ機会を確保し、**こどもへの多様な学習機会を増やす**ことが必要。

令和2年度主な取組
(こどもの未来部会関連)

安心してこどもを産み育てることができる環境づくり
子育てが楽しくなるまちづくり

未来を生き抜く力の育成
次世代の学校づくり（学校配置の見直し・「生野の教育」の実現）

未来を生き抜く力の育成
まちの教育力を上げる
学校跡地を核としたまちの活性化



(1-1) 子育てが楽しくなるまちづくり

◆取組実績

《 子育て応援イベント いくのっ子広場 》

- ・いくのっ子おさんぽラリー
→11月～12月にかけて開催
参加カード配布：720枚、景品交換：320名



《 生きるチカラを育む絵本プロジェクト 》

- ・生野区絵本ダイアリー
「いくみんのほんだな」作成・配布

《 子育て講演会 》

- ・テーマ「思春期のこどもの子育て」
11月から約2か月間オンライン配信

(1-1) 子育てが楽しくなるまちづくり

《 生野区まちぐるみ子育て宣言 》

すべてのこどもが笑顔で暮らせるように、
「みんなで子育てするまち」をめざす。
企業・団体が登録数：96団体



《 子育てに関する効果的な情報提供 》

- ・ 子ども・子育てプラザの子育て情報サイト“**いくのde育〜の**”を活用
アクセス数：8,149件
- ・ 区長による「いくみん子育て通信」





【令和2年度業績目標】

- ・子育て応援イベント 参加者数
目標：200名以上 ⇒ 320名

目標達成

- ・子育て情報サイト“いくのde育～の”のアクセス数
目標：前年度以上
R元年：8,445件 ⇒ R2年：8,149件

目標未達成

◎要因分析と課題

これまでアクセス数は毎年増加していたが、R2年度は新型コロナの影響により地域での子育て事業が中止になり、開催情報などの検索が必要なくなったのが要因と考えられる。

◎今後の方向性

地域での子育て関連事業の情報のPRを重視していたが、今後は主体的な情報発信も力を入れていく。

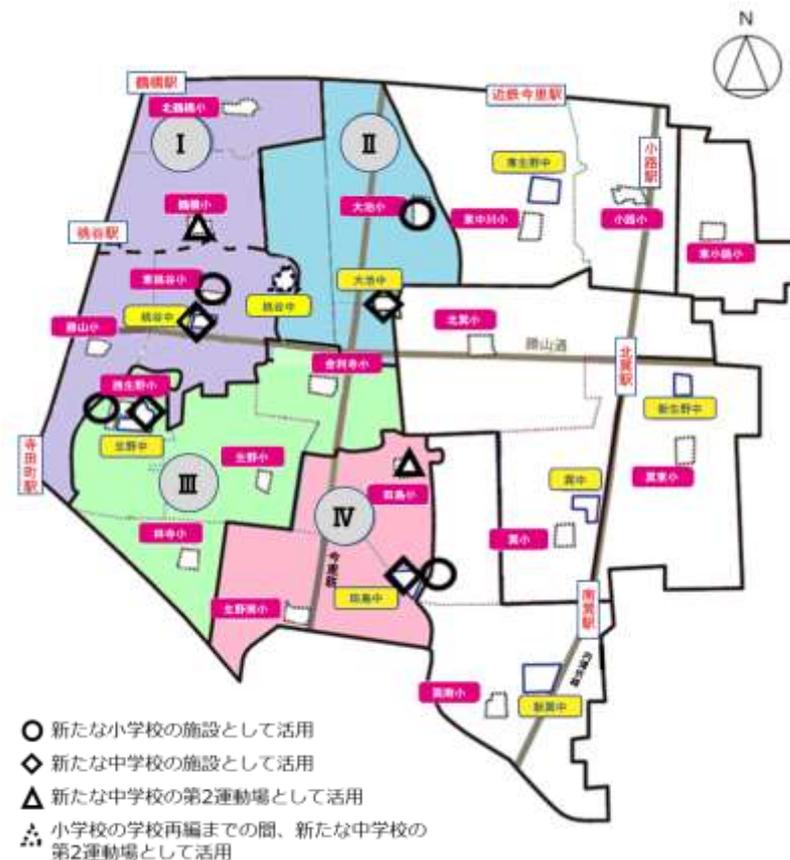
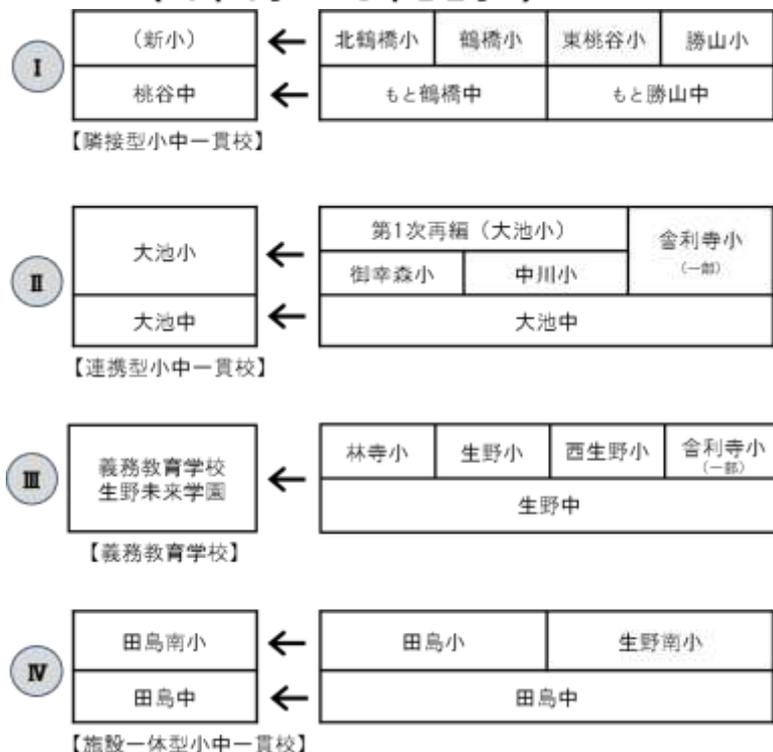


(2-1) 次世代の学校づくり(学校配置の見直し)

生野区西部地域学校再編整備計画の推進について

生野区西部地域学校再編の概要

(4中4小 ← 5中12小)



(2-1) 次世代の学校づくり(学校配置の見直し)

◆取組実績

●生野中学校区

- ・「生野中学校区 学校設置協議会」 平成30年11月設置
- ・「生野中学校区 義務教育学校開校に向けた説明会」 令和2年2月1日～4日開催
- ・「生野中学校区 学校再編整備計画」 令和2年3月策定
- ・「生野中学校区 学校適正配置検討会議」 令和2年6月から開催

●田島中学校区

- ・「田島中学校区 小中一貫校開校に向けた説明会」 令和2年2月7日・9日開催
- ・「田島中学校区 学校再編整備計画」 令和2年3月策定
- ・「田島中学校区 学校適正配置検討会議」 令和2年8月から開催

●大池中学校区

- ・「御幸森小学校・中川小学校学校設置協議会」 平成31年3月設置
- ・「御幸森小学校・中川小学校 学校再編整備計画」 令和2年3月策定
- ・「御幸森小学校・中川小学校 学校適正配置検討会議」 令和2年6月から開催
- ※令和3年1月から「大池中学校区小学校 学校適正配置検討会議」に改組
- ・「大池中学校区 学校再編整備計画」 令和2年11月策定
(「御幸森小学校・中川小学校 学校再編整備計画」を「大池中学校区 学校再編整備計画」に改正)

●桃谷中学校区

- ・桃谷中学校 平成31年4月開校





【令和2年度業績目標】

- ・ 学校再編整備計画（案）未策定校：学校再編整備計画（案）を作成する
 目標：1中学校区 ⇒ 実績：未策定
- ・ 学校再編整備計画（案）策定済校：学校適正配置検討会議において意見聴取を行う
 目標：3中学校区 ⇒ 実績：3中学校区

目標未達成

◎要因分析と課題

学校再編整備計画（案）の作成に向け、保護者・地域との意見交換を進めていく必要があるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、十分な話し合いの場を確保できていない。

◎今後の方向性

引き続き、保護者・地域に対して丁寧な説明及び意見交換を経て、学校再編整備計画策定に向け取組みを進めていく。

(2-2) 次世代の学校づくり（「生野の教育」の実現①）

◆取組実績

●学び支援事業

児童の学力状況の把握および自主学習習慣の確立などを目的に、模擬試験等を学校が活用できる機会を提供

- ・ 模擬検定等の外部試験 | 6小学校にて実施
(標準学力調査、英検Jr.、日本語検定)



【各試験の実施状況】

- ・ 標準学力調査 7校
- ・ 英検Jr. 5校
- ・ 日本語検定 5校

※複数の試験を実施した学校については、それぞれで計上

【令和2年度業績目標】

- ・事業実施後のアンケートにおいて、学習意欲を問う設問について肯定的な回答をする児童の割合

目標：70%以上 ⇒ 実績：84%

目標達成



(2-2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現②)

◆取組実績

●民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」の開催

中学校を会場として民間事業者等による課外学習を行い、学習習慣の定着、基礎学力の向上をめざす。

対象：区内在住の市立中学校に在籍の1～3年生

会場、曜日、時間：

- ・生野中学校 毎週火・金曜日
- ・巽中学校 毎週水・金曜日
- ・生野区民センター 毎週月・木曜日

①18:30～19:40 ②19:45～20:20

※時間帯の①と②のどちらかを受講

科目：英語・数学

受講者数：39名

【令和2年度業績目標】

「1日にどれくらいの時間、家庭学習をしていますか」という設問に対し、「全くしない」と回答する生徒の割合

目標：事業参加前後で半減

実績：（前）20.5% ⇒（後）13.6%

目標未達成

◎要因分析と課題

未達成ではあるものの、出席率が約8割以上と生徒の自主学習への意欲や学習習慣の定着につながるものはいくつかあるが、設問の「家庭学習」が自主学習習慣の効果測定につながらなかったと考えられる。

◎今後の方向性

本来の目的である、学力向上に必要な自主学習習慣の定着状況が反映される方法を検討する。

(2-2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現③)

※くらしの安全・安心部会関連：(4-2)貧困の連鎖を断ち切るための支援と同取組

◆取組実績

●生きるチカラを育む課外授業（みらい塾）の開催

民間事業者等による悩み相談と課外授業を通して、基礎学力の向上と自己肯定感の醸成をはかり、「自ら学ぶ力」の定着をめざす。

実施校：

- ・大池中学校（毎週月・木曜日）
- ・東生野中学校（毎週火・金曜日）
- ・田島中学校（毎週火・金曜日）
- ・新生野中学校（毎週火・木曜日）

①18:30～19:40

②19:45～20:55

※時間帯の①と②はどちらかを選択

科目：英語・数学・国語

受講者数：計56名



【令和2年度業績目標】

「1日にどれくらいの時間、家庭学習をしていますか」の設問に対し、「30分より少ない」、「全くしない」と回答する生徒の割合

目標：事業参加前後で半減

実績：（前）51.8% ⇒ （後）58.1%

目標未達成

◎要因分析と課題

未達成ではあるものの、出席率が約9割近くある等、生徒の自主学習への意欲や学習習慣の定着につながるものはいくつかあるが、設問の「家庭学習」が自主学習習慣の効果測定につながらなかったと考えられる。

◎今後の方向性

本来の目的である、学力向上に必要な自主学習習慣の定着状況が反映される方法を検討する。

(2-2) 次世代の学校づくり（「生野の教育」の実現④）

※くらしの安全・安心部会関連：(4-2)貧困の連鎖を断ち切るための支援と同取組

◆取組実績

●生きるチカラまなびサポート事業

「キャリア教育」や「性・生教育」を支援する「生きるチカラまなびサポーター」の登録制度を構築し、学校の要請に応じて講師を派遣。

- ・登録講師 27名
- ・小中学校への講師派遣 32回
- ・運営アドバイザー会議 1回



【プログラミング授業】



【区内の企業による職業講話】

【令和2年度業績目標】

- ・事業終了時のアンケートにて、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問について否定的な回答をした受講者の割合

目標：6.0%未満 ⇒ 実績：4.4%

目標達成



受講者の意見

〔小学生〕（プログラミング講座にて）前にも塾でプログラミングをやろうとしたのですが、できなかったのが待望のプログラミングでした。

〔中学生〕（職業講話を受講後）将来のことは不安が大きかったけれど、不安がたくさん解消されてよかった。

(2-3) 次世代の学校づくり (学校・教育コミュニティ支援)

◆取組実績

●小・中学校交流かけはし事業

児童生徒が中学校生活を楽しく過ごすためにスムーズな移行ができるよう、区が支援を行い、各中学校区における小中連携の取組をさらに充実させ、進学先の中学校の生徒や同じ中学校へ進学する他校の児童との交流促進を図る。

- ・小中学校の交流（部活動・授業体験等）
区内全8中学校区のうち6中学校区で実施



【生徒会メンバーによる部活動案内】



【理科の授業体験(イワシの解剖)】

【令和2年度業績目標】

- ・特色ある学校づくりの情報発信に関する区役所の取り組みが進んでいると感じる区民の割合

目標:60%以上 ⇒ 実績:37.1%

- ・異なる年齢や学校の児童や生徒と交流できてよかったと感じた参加者の割合

目標:80%以上 ⇒ 未測定

目標未達成

◆要因分析と課題

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定通りの交流を行うことはできなかったが、各中学校区が工夫して小中学校間の連携を深めた。

◆今後の方向性

- ・新たな生活様式での小中学校間の連携の情報発信に、引き続き取り組んでいく。